

はじめに

成田市教育委員会

教育長 関川 義雄

年明け早々、中国の武漢で最初に確認された「新型コロナウイルス感染症」は、瞬く間に世界中に拡散し、本年開催予定だった「2020東京オリンピック・パラリンピック」も来年に延期されるなど、社会・経済界だけでなく教育や文化、スポーツの世界にも大きな影響を及ぼしました。このことから本年度、小学校において完全実施となった新学習指導要領に基づく新たな教育も、新年度開始直前に国、県から緊急事態宣言が発出されたことにより、スタート直後から全国一斉休校となる非常事態に遭遇することとなりました。また、休校期間中、オンライン教育を実施した学校が注目を集め、国の「GIGAスクール構想」も急遽、当初の計画を前倒しして整備することが決定したため、本市もこれに遅れることなく、全児童、生徒そして教員に対し、一人1台のタブレット端末を整備することといたしました。新型コロナウイルス感染症拡大は、長期にわたる休校措置の影響からどの学校においても教育計画を大幅に見直す必要が生じたことから、子どもたちにとっては、楽しみにしていた行事の削減や夏休みの短縮など、より厳しい環境を強いることになりました。しかし同時にこの機に学校のICT教育が一気に進展するチャンスも与えてくれました。今後は、突然の休校など、非常時においても子ども達の学習の機会を確保し、適切に教育を施すことができるよう全力を挙げてハード、ソフト両面にわたって整備を進めてまいります。

また、本年度は、コロナ禍の中、学校教育のみならず、図書館や公民館の利用についても、利用方法の変更等、一部制限を設けるなどして利用される皆様にも感染防止のためご協力をお願いさせて頂いたところです。さらに例年実施してきた市民の皆様を対象にした様々な生涯学習機会の提供を中止したり、多くの主催事業について、その内容や方法を見直しせざるを得ない状況となりました。今後は、新型コロナウイルス感染症を予防する措置を講じながら、できる限り安全な環境で、市民の皆様が活動の機会を提供できるよう努めるとともに、次世代における「まちづくり」への貢献を目指し、次年度から5年間を期間とする第3次成田市生涯学習推進計画を策定してまいります。

なお、本市で2番目となる義務教育学校「大栄みらい学園」については、令和3年4月の開校を目指し建設工事を進めるとともに、老朽化した学校の大規模改造工事や各中学校特別教室への空調設備を整備するなど、学校教育環境の充実を図ってまいります。また、図書館や公民館など、公共施設の利用に際し、その利便性を向上させ、市民の皆様が健康的で豊かな心を育めるよう、引き続きサービスの充実に向けてまいります。